

2023年度 岡山県支部 防災講演会

「みんなで考えよう地域コミュニティ防災」

公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部 防災委員会委員
桐野 真二

1. はじめに

2023年10月27日(金)午後 岡山理科大学において、岡山県支部主催、砂防学会中四国支部、建設コンサルタンツ協会中国支部、岡山県被災者支援士業連絡協議会の後援による防災講演会を開催しました。今回は地域防災力の向上にとって課題となっている「自主防災活動」と「マンション防災活動」を対象に、地域コミュニティ防災について取り組んでいる行政、町内会、防災委員会の取り組みを講演テーマとしました。当日は、会場参加者37名、オンライン参加者38名の合計75名の参加がありました。各講演後には会場やオンライン参加者から質疑があり、講師と参加者との熱心な意見交換の場となりましたので、その内容を報告します。

2. 会場準備・受付

岡山県支部事務局、事業委員会、防災委員会のメンバーにより会場準備、受付、オンライン参加者対応を行いました。オンライン視聴は事前準備と当日の対応が大変ですが、窪田事務局長と露無事業委員長には多くの時間をかけてもらいました。その結果、大きなト



岡山理科大学での会場案内

ラブルもなくオンライン視聴を行うことができました。

3. 開会挨拶

岡山県支部 支部長 川井 広一氏

川井支部長から、建設コンサルタンツ協会中国支部と岡山理科大学の学生との連携による「自主防災活動支援」、岡山県被災者支援士業連絡協議会の構成団体である建築士会と連携した「マンション防災活動支援」について紹介して頂きました。各団体との連携の重要性を指摘された後、各講演の概要紹介がありました。



川井支部長による開会挨拶

4. 講演1「自主防災活動の推進について」

岡山市危機管理室

室長 今井 洋孫氏

今井室長からは、まず自主防災組織の必要性、結成状況、主な活動、岡山市からの支援の紹介がありました。また、要配慮者の避難支援のための個別避難計画づくりの必要性を指摘されました。さらに、地域におけるこれらの具体的な取り組み事例とともに、防災士

の育成状況と市民の意識調査結果を紹介されました。令和3年度調査ではあるが、自主防災組織を知らない人50%以上、個別避難計画を知らない人70%以上との説明には、今後の支援活動の必要性を強く感じました。



今井室長による講演

5. 講演2「御南学区防災活動の取り組み」

岡山市北区御南学区連合町内会

会長 澤井 博氏

澤井会長からは、御南学区の主に平成30年の水害発生状況、自主防災組織の令和元年結成・活動状況、防災学習会、防災訓練・避難所運営訓練、指定避難所の追加、行政によるインフラ整備等の紹介がありました。被災経験をもとに活発な自主防災活動を実施されていることが理解できるとともに、地元にある県立岡山西支援学校や御南中学校との連携活動が印象に残りました。中学生による避難所運営訓練を実施しており、避難所運営の戦力



澤井会長による講演

として期待できるとの報告は特に参考となりました。

6. 講演3「岡山市のマンション政策について」

岡山市都市整備局住宅・建築部住宅課

焰硝岩 万里子氏

焰硝岩氏からは、岡山市における分譲マンションの状況と適正管理、マンション政策についての紹介がありました。具体的な取り組みとして、令和5年度市民協働推進事業「マンション管理をサポートする団体の裾野を広げるための連携事業」として技術士会と建築士会との連携によるマンション防災事業について説明して頂きました。特に中区高屋町内にある4棟の分譲マンションと町内会・自主防災組織を対象に技術士会が中心に本年10月15日に実施した「災害リスク研修」、その内の1棟の分譲マンション居住者を対象に建築士会が中心に10月22日に実施した「マンション探検ツアー」を報告していただきました。



焰硝岩氏による講演

7. 講演4「マンションの防災対策事例について」

岡山市南区箕島学区連合町内会

会長 木梨 厚忠氏

木梨会長からは、岡山市南区箕島にある会長の居住する分譲マンションの居住者のみの単独町内会とマンション管理組合の具体的な

防災対策の取り組みの紹介がありました。主に地震災害時や火災発生時のマンションの弱点、減災対策、自主防災活動、防災訓練の実施状況を説明されました。マンション居住者の60～70%が訓練不参加者であるため、回覧により実施結果の周知を徹底しているとの説明が印象に残りました。マンション独自に作成した防災マニュアルの内容を詳細に説明され、より具体的な取り組みが理解できました。



木梨会長による講演

8. 講演5「岡山市内の自主防災活動と マンション防災活動の支援について」 岡山県支部 防災委員会 副委員長 古川 智氏

古川副委員長からは、防災委員会の活動目的、岡山市立公民館における「防災マップづくり支援」、岡山市市民協働推進事業「マンション防災支援」の活動状況報告、活動成果・課題抽出の報告がありました。公民館への支援活動を通じて、自主防災活動推進のための



古川副委員長による講演

岡山市自主防災連合会の設置、活動の情報共有の必要性を強調されました。マンション防災については、専門士業連携の重要性を指摘されました。

9. 意見交換

講演後には会場参加者とオンライン参加者から質問や意見がありました。

岡山県支部防災委員会の佐藤委員から今井室長へ、避難行動要支援者名簿の作成から個別避難計画作成状況について質問があり、約7,000人の名簿作成と、そのうち特に災害リスクの高い地域に居住する重点的計画作成対象者約3,500人に対して約1,000人の計画が作成済みであるとの説明がありました。



佐藤委員による質問

会場参加の行政書士の方から発災後の共助としてのマンション管理組合や公助としての岡山市の取り組みが進んでいない、岡山市内の分譲マンションで避難場所として岡山市と



会場参加者からの意見

協定締結したマンションはないと話がありました。これに対して、古川副委員長より北区には協定締結したマンションがあることを補足しました。

会場参加者から澤井会長へ、雨天時の防災訓練において苦慮した点についての質問では、会長より土のうを水のう設置に変更したが災害時に近い訓練としては良い経験となったとの説明がありました。



会場参加者からの質問

その他、会場からは岡山県支部田邊特別顧問、古川副委員長からの質問や意見が出され、オンライン視聴者からは福田中国本部長からマンション居住者としてコミュニティと管理組合の活動課題に対する質問があり、焰硝岩氏と木梨会長から助言を頂きました。



田邊特別顧問からの意見

10. 閉会挨拶

岡山県支部 防災委員会
委員長 佐藤 丈晴氏

佐藤委員長から、講師から貴重な講演が拝聴できたこと、有意義な意見交換ができたこと、講師及び参加者への謝辞を述べて閉会しました。



佐藤防災委員長による閉会挨拶

11. おわりに

岡山県支部防災委員会の今年度の具体的活動計画には、「自主防災活動支援」「マンション防災支援」「岡山県被災者支援士業連絡協議会における専門士業連携」を上げています。今回の防災講演会は、防災委員会がこれらの活動を今後実施するための課題抽出の場となることを期待して開催し、活動を進めるための熱心な討論と意見交換の場となりました。今後とも皆様と協力して地域コミュニティ防災へ取り組みたいと考えます。